

開館カレンダー

休館日

2025年3月						
日	月	火	水	木	金	土
						①
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2025年4月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

あんころもち

対象:0~3才
日時:毎週 火曜日 14時~
会場:図書館 おはなしの部屋

土曜日のおはなし会

対象:3才~
日時:毎週 土曜日 14時~
会場:図書館 おはなしの部屋

わ・わ・わぼっどでおはなし会

対象:就学前児とその保護者
日時:毎月 第2水曜日 11時~
最終 日曜日 11時~
会場:子育て支援センター

図書館見学に来てくれました！(1月)

明倫小2年生が図書館に来てくれました。みんなきちんと整列して移動し、スタッフの説明もしっかり聞いてくれました。

AED や多目的トイレなど、施設内にどんな工夫があるかを見つけることも目的のようで、図書館の読書バリアフリーについて説明すると「知らなかった！」という声があり、しっかりメモをとっていました。



司書のひとりごと…

寒さも和らぎ、冬を耐えぬいた植物の芽吹きがはじまりました。庭の梅もたくさんの蕾をつけ、いよいよ春の到来です。この春、進学や就職で新生活が始まるみなさんも多いかと思いますが、どうか、これまでのがんばりが、新たな地で芽吹き花開きますように！
図書館でも、館長はじめスタッフ数名が退職し、4月からは新体制でのスタートです。さみしい気持ちもありますが、これまで共にがんばってきた日々を糧に、みなさんに愛される図書館をめざして、芽吹いていきます！(Y)



鹿島市民図書館だより

みんと



- 図書館アンケートにご協力ください！
- 館長コラム
- 雑誌ふろくプレゼント当選者発表
- 冬の特におはなし会(報告)
- 赤ちゃん絵本コーナーが変わりました！
- 図書館見学報告(1月)

2025年3月 279号

図書館アンケートにご協力ください！

鹿島市民図書館をよりよいものにしていくために、みなさんのご意見をお聞かせください。

アンケート回答期間 **3月5日(水)~18日(火)** ※予定

回答方法
①か②のいずれか

- ①アンケートフォームから回答
(リンクは図書館のホームページにあります)
- ②図書館内に設置のアンケート用紙に記入



…館長コラム「旅立ち」…

立春が過ぎた後、今季で一番の最強寒波が襲来して鹿島も雪景色に染まり、雪降る中で中川橋から見た風景も、なかなか風情を感じる情景でした。その後は日増しに春めいてきていて、これからは桜の花が楽しみです。今年の佐賀県の桜の開花予想は3月24日頃になるそうです。

この3月は、学校での進級や卒業、そして次の学校への入学や就職・転勤など、新たな生活環境での日々を迎えるシーズンなので、時には、故郷から遠く離れた地に移動することもあると思います。今では電車や飛行機を使って、長距離の移動もそれほど苦になりませんが、はるか昔の江戸時代の人達は徒歩での移動が主流だったので、とても大変だったことでしょう。

そんな江戸時代に、俳諧師「松尾芭蕉」が、江戸を出発し、東北地方、北陸地方を巡り岐阜県の大垣までの行脚に旅立ったのが、旧暦の元禄2年(新暦の1689年)3月27日で、この時の年齢は46歳でした。距離にして約2400キロ、日数にしておよそ5か月間にも及ぶ長旅となり、その5年後の51歳の時に紀行文「おくの細道」を完成させました。

この中には幾つもの有名な俳句が収められていますが、門出の時期を目前にして、久し振りに紐解いてみました。序文の書き出しは、「月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり」です。「月日は永遠の旅人のようなものであり、来ては去る年もまた旅人のようなものである」というような意味になります。この時から300年以上の歳月が経過し、人生100年時代といわれる現代でも、人の一生は、最後の時を迎えるまで続く“旅”のようなものなのでしょう。まもなく、桜の花びらに見送られて、新しい旅に出発される方がいらっしゃると思います。旅立つ皆様に“ボン・ボヤージュ！(良い旅を！)”

最後に、今回の最終コラムまで読んでくださった皆様に、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

鹿島市民図書館長 市坪 秀明



鹿島市民図書館 一般財団法人 鹿島市民立生涯学習・文化振興財団



〒849-1312 鹿島市大字納富分 2700-1
鹿島市生涯学習センター エイブル

TEL:(0954) 63-4343 FAX:(0954) 63-2217

https://www.library.city.kashima.saga.jp

2025年2月25日発行

新着図書案内

毎週 **金** 曜日は、新着図書の日

貸出カウンター前は新着図書のコーナーです。毎週金曜日には、約100冊の新着図書がみなさんとの出会いを待っています！ぜひ、借りに来てくださいね♪



『今日も異文化の壁と闘ってます』

千葉 祐大／著 Yuko／まんが 三笠書房

「みんな違って当たり前」。けれど、違いを知っていないと無用のトラブルを招きます。外国人材を受け入れている会社の社長や担当者の方、外国人客と接する方へ向けて、国・地域別の「考え方」「伝え方」「接し方」を解説した本です。



『進撃の地場産業』

樺島 雄大／著 幻冬舎メディアコンサルティング

下請けを脱し自社ブランドを立ち上げ、世界に販路を広げる佐賀市諸富の家具メーカー。挑戦的な経営改革、熟練社員の反発、博打のような営業もしつつ発展させてきた社長が、自社のこと、これからの地場産業について語ります。



『Y字路はなぜ生まれるのか？』

重永 瞬／著 晶文社

右に行くか左に行くか、それが問題だ…。道の成り立ちがわかると町の見方が変わり、愛着もわいてきます。まち歩きガイドツアーも行っている大学院生が、全国各地に存在するY字路について、その魅力を語りつくした本です。



『フリーランス農家という働き方』

小葉松 真里／著 太郎次郎社エディタス

北から南まで、農家に住み込んで農作業をし、イベントを企画運営・情報発信し、農家同士のつながりを作る…。家も土地もない、でも農業をやりたい！著者がたどりついたフリーランス農家という新しい働き方について紹介します。



『音楽隊に「敬礼っ！！」』

樋口 孝博／著 音楽之友社

鹿島市政70周年イベントで行われた自衛隊音楽隊の演奏。災害など非常時以外では最も国民の目に触れる機会が多い音楽隊員は、普段どのような活動をしているのでしょうか。元音楽隊長が秘密のベールを少しめくって紹介します。



雑誌ふろくプレゼント 当選者発表

プレゼント渡し期間

3月8日(土)～30日(日)

当選者のペンネームを図書館に掲示しています。当選された方は図書館までプレゼントを取りに来てください。

ご参加いただき
ありがとうございました！

冬の特大大おはなし会 (2/1 報告)

節分直前の寒い寒い日、エイブル1階いきいきルームでは赤ちゃんから大人まで約30人の参加者を迎え、大型絵本の読み語りやマジックショー、紙コップを使った工作まで、もりだくさんのおはなし会を行いました。

冬の寒さを読み語りで吹き飛ばし、愉快的マジックショーで大笑いし、会場はとても盛り上がりました。毎回ご協力いただく読み語りボランティアの方の存在は本当にありがたいです！



『おめんです 3』



『にんじんさん だいこんさん ごぼうさん』



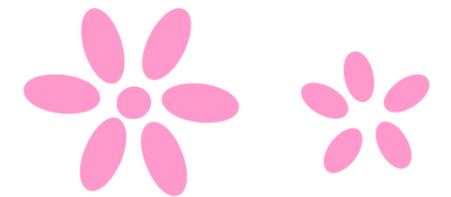
『おふとんかけたら』



『しりとりのだいすきなおうさま』



『マジックショー』



子ども図書館サポーターのみん
なは、1月の活動で、おはなし会本
番に向けて、工作や読み語りの練
習をしっかりしていました！

工作
「紙コップで
UFO キャッチャー」



赤ちゃん絵本コーナーが変わりました！

これまで壁側の本棚にも置いていた赤ちゃん絵本を、ブックトラックにまとめました。空いたところには、わらべうたやことばあそびの絵本を並べていますので、ぜひ手に取って楽しんでください。

